



音読のすすめ

目だけでなく、喉でも、耳でも、言葉を感じながら音読してみませんか。

音読の手始めとして、有名な人の名言集などはいかがでしょう。

気に入った言葉を元気よく読んでみると、気分が盛り上がります。

小説の会話の部分を役者のセリフのように読むのもおすすめです。

複数の人物を演じ分けられるかチャレンジしてみてください。

その他、詩やエッセイ、国語辞典なども、音読してみると、これまでと違った新鮮な気分になりますよ。もしかしたら、ストレス解消にもつながるかもしれません。ぜひ試してみてください。

ただし、音読するときは、声を出しても大丈夫な場所を選んでくださいね。

おすすめ本

『声のお仕事』 川端裕人／著 文藝春秋(分類:913か)

勇樹は「声で世界を変えてやる！」という熱い思いを持った声優です。しかし、現実には厳しく、二十代後半になっても声優としての代表作はなく、アルバイトをしながら生活する日々でした。何とかしたくて今後の人生をかけて野球アニメのオーディションを受けた勇樹。後日知らされた結果は予想外のものでした……。

勇樹の成長物語であると共に、声優の仕事の雰囲気を感じることのできる小説です。



『心にひびくマンガの名言』①～⑤ 学研教育出版(分類:15こ)

『The Words 心を癒す言葉』アレックス・ロビラ／編著 ポプラ社(分類:15ろ)

『こども孫氏の兵法』齋藤孝／監修 日本図書センター(分類:39こ)

『時代を変えた科学者の名言』藤嶋昭／編著 東京書籍(40ふ)

『庭の小径で』きたむらさとし／文 BL出版(72す)

『のび太くん、もう少しだけがんばって』藤子・F・不二雄／著 幅允孝／選 小学館(72ふ)

『声に出して読みたい日本語』齋藤孝／著 草思社(80さ)

『ピカピカ名詞』齋藤孝／著 バイインターナショナル(911さ)

『ことばあそびうた』谷川俊太郎／詩 福音館書店(911た)

『中学生に贈りたい心の詩40』水内喜久雄／編著 PHP研究所(911ち)



展示会の報告

1月24日～29日の期間に行われた展示会に図書委員会も『実りの読書』と『本の紹介カード』を出展しました

実りの読書

11/2～12/10の間に、437冊貸し出しされました。学年ごとで言うと、以下の結果になりました。

1年 130冊

2年 115冊

3年 192冊

各学年ともに普段よりたくさん本を借りてくれました！

本の紹介カード

各クラスで書いてもらった「おすすめ本の紹介カード」は読んでもらえましたか？他の人がおすすめする本は、意外な発見があったりして面白いですよ。また、カードの中に「漢字一字で表すと……」という項目があったと思います。本の内容から一字取った人や本のイメージを表した文字を書いている人もいて「どんな本なのだろう」と読みたくなりました。しばらくの間、図書室前の『読処』に掲示しておくので、展示会では時間が足らず読めなかった人は是非来てください。

ひと ひら
「(一)片」

意味：雪の数え方。雪以外にも花びら等小さくて薄く、ひらひら舞うようなものは「片」と数える。

ちなみに「手袋」はどのような数え方をすると思いますか？

『絵で見る「もの」の数え方』町田健／監修 主婦の友社(815え)

原作本

映画やドラマ等実写化・アニメ化された原作本を紹介します

『スマホを落とすだけなのに』
志駕晃／著 宝島社(文庫913し)



2018年に映画化された作品の原作です。

タイトルの通り、スマホを落とした事で不可解な出来事が次々起こるミステリー。まさかスマホからこんなにたくさんの個人情報簡単に抜き取られたり、操作されたりするなんて……。スマホやインターネットが普及している今、もしかしたら自分も……と恐怖を感じた人もいたのではないのでしょうか。

2020年2月には続編も公開されるようです。まずは第一作目の原作を見て、予習してみたいかがでしょうか。

言葉
カフェ

数え方

